

議案第15号に 対する討論

中村 和彦議員(もおか新時代)

反対

真岡市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について、もおか新時代を代表し、反対の立場から討論を行う。

災害の防止、良好な景観の形成、生活環境の保全といった条例の趣旨には賛同するが、この条例案では目的を達成できないのではないかと懸念がある。懸念材料の1つ目が、この条例案では市長が事業者に協力を求めるだけで許可権を持たない点。2つ目が、条例案の中で、対象となる事業者の含め方に混乱を生じさせる懸念がある点。3つ目は、災害時及び廃止後の措置に関する協定について、既存の設備が対象から除外されてしまう点である。

これらの課題が散見される中、目的を達成させるため、より実効性のある条例を模索すべきと考える。

令和2年度予算に 対する討論

佐々木 重信議員(自由民主会)

反対

令和2年度一般会計予算に反対し、反対の立場から討論を行う。

議会と執行部は対等の立場で、かつ独立していなければならぬが、甲詞の印刷にかかる予算について、1款議会費と2款総務費で計上額が異なる点、甲詞の差出人が市長と議長の連名である点から反対する。

また、公職選挙法にふれるおそれがあると鑑みられる甲詞印刷製本費に、市民からの貴重な公金を支出する予算には賛成できない。

久保田 武議員(もおか令和会)

賛成

令和2年度予算案について、もおか令和会を代表し、賛成の立場から討論を行う。

令和2年度は、真岡市総合計画2020-2024に掲げる5つのプロジェクトの着実な推進、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開による人口減少問題への対応、さらには市民の要望などにも真摯に耳を傾け、これらを実現する予算としたことに対し、高く評価する。

こどもの元気な成長プロジェクト

については、本市独自の総合学力調査を実施するとともに、児童生徒に対し1人1台の端末機器整備に取り組みることに対し、高く評価する。ICT支援員を配置して情報教育の充実が図られており、特別支援教育支援員を増員して小学校に配置するなど、教育の充実に努めている。老朽化している第一学校給食センターの建替を進めるため、計画的な施設の整備に取り組んでいる。

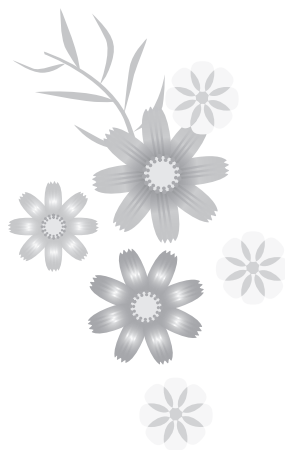
若い世代・子育て応援プロジェクトについては、「遊ぶ」「学ぶ」「にぎわう」の機能を併せ持つ複合交流施設の整備を進めている。また、幼児教育、保育の無償化に伴い、実費徴収となる副食費を第2子以降について県内で初めて市単独で支援をするなど、子育ての充実が図られることに対し、高く評価する。

いつまでも安心な暮らしの実現プロジェクトについては、公共交通の不便地域の解消や交通弱者への対応を図り、いちごタクシーやいちごバスの利便性を高めるため、第2次真岡市地域公共交通網形成計画の策定に取り組んでいる。県内でも初めて真岡北陵高校教養福祉科などの介護福祉士試験の受験者に対し、受験料や登録手数料を助成するなど、介護支援の充実と人材確保に努めている。

とちぎをリードする産業プロジェクトについては、農業にICTを活用する農家に対して支援に取り組みとともに、大学生と連携した農泊の取組、イチゴ生産者の確保や育成に向けた観光いちご園整備構想の策定など、大いに期待する。新産業団地整備に向けて地権者説明会を実施、事業への理解と協力を得ながら実施設計業務や移転代替地の取得に取り組みることに対し、高く評価する。

最後に、まちの活力再生・魅力創出プロジェクトについては、新たな真岡の元気を創出する取組で、良好な住環境と町並みが調和したまちづくりが推進されるよう期待する。井頭公園を核とした観光ゾーンの整備については、アンケート調査や、周辺施設の課題を把握するため井頭周辺エリアの魅力向上に関する調査に取り組みることに対し、高く評価する。11月15日に開局を予定しているコミュニティFMについては、地域に密着した話題や行政情報などの提供がなされるとともに、まちの安全安心を担い、防災力の向上が図られる。防災ラジオ整備に取り組みことも、高く評価する。

新庁舎建設事業については9月23日の開庁に向けて整備が順調に進められている。子育て支援については



保育所への臨床心理士の派遣に取り

組むこと、3歳児健康診査において

は屈折検査機器による精度の高い視

力検査を実施して弱視の早期発見に

取り組むことに対し、高く評価す

る。若者・子育て世代定住促進住宅

取得支援事業においては、中古住宅

取得の場合についても固定資産税の

一部を補助することとし、就労者定

住促進奨学金返還支援事業において

は、市内勤務の条件を緩和するな

ど、それぞれの補助要件の緩和を行

うことで、本市への移住・定住に向

けた対応が図られている。引き続き

長田小学校の校舎増築事業に取り組

むとともに、学校施設長寿命化計画

を策定するなど、教育環境の充実に

取り組んでいる。令和4年度に栃木

県で開催される国民体育大会及び全

飯塚 正議員(日本共産党)

令和2年度予算に対し、反対

の立場から討論を行う。

一般会計では、自衛官募集事務を

行っている点、マイナンバーカード

の作成の推進を図っている点、敬老

会開催事業、ミニデイホーム事業、

井頭温泉招待事業の対象となる年齢

を70歳から75歳へ引き上げたまま

ある点、指定ごみ袋の有料化を続け

ている点、企業誘致の促進を図るた

めの補助を行っている点、農村部に

おける生活道路や準用河川・用水路

の整備について区からの要望に応え

きれていない点、奨学資金貸付事業

において給付型制度になっていない

点、小中学校給食費の無料化が図ら

れていない点、市民会館、青年女性

会館、市公民館の貸出業務を民間に

予算審査特別 委員会の審査から

総務費

▼2款1項7目 企画費

問 国土強靭化計画策定支援業務委
託費350万円の事業内容を伺

う。

答 国土強靭化計画策定支援業務委
託費の業務内容は、大規模自然

災害の防災・減災に取り組むため、
自然条件等の本市の概況の整理や、
脆弱性についての総合的な分析・評

価を行い、行政機能や地域社会のリ
スクを減らすための対策や取組を検

討し、本市の強靭化の計画を策定し
ていくための業務委託である。

衛生費

▼4款1項3目 保健指導費

問 令和2年度不妊治療助成事業費
補助金1333万2千円の予定

件数を伺う。

答 不妊治療助成事業は、不妊に悩
む夫婦の経済的負担を軽減する

ため、人工授精、体外授精、顕微授

精などの不妊治療を受けた夫婦に対

し、治療費の一部を助成するもの

で、助成額は1年度当たり不妊治療

に要した費用の2分の1、上限15万

円とし、期間は通算5年である。な

お、体外授精や顕微授精などの特定

不妊治療については、期間内に1度

だけ、不妊治療に要した費用の上限

30万円を助成している。令和2年度

の助成予定件数は、特定不妊治療を

含め、合計82件である。

農林水産業費

▼6款1項4目 園芸特産費

問 観光いちご園整備基本構想等作
成委託費522万5千円の事業

内容について伺う。

答 本市はイチゴ生産量日本一を

誇っているが、市内にイチゴ狩

りのできる施設が少ない状況にあ

る。このようなことから、井頭周辺

活性化事業に合わせ、新規就農者研

修施設としての機能を兼ね備えた観

光いちご園を整備するため、基本構

想を作成する委託費である。

